

## 「2011 年度 事業報告」

### 1. 2011 年度事業報告について

早稲田大学男女共同参画推進委員会は、2008 年 12 月に発表した 2017 年度までの中長期計画「男女共同参画基本計画」の実現に向けて、次のとおり 2011 年度の事業を実施した。

2011 年度の事業の中で特筆すべき点としては、既存の東京都認証保育所「ポピンズナーサリースクール早稲田」とは別に、5 月から本学の教職員・学生が優先的に利用できる一時預かり託児室が開設されたこと、7 月から 9 月にかけて第 2 回目となる学院へのヒアリング調査を実施し、その結果を学内に公表したこと、10 月には、第 2 期委員会から第 3 期委員会へと事業を引き継ぎ、委員会設置後 5 年目の活動に入ったこと、12 月には、職員管理職者会において、本学における男女共同参画推進に関する専任教職員の意識・実態などを報告したことなどが挙げられる。

### 2. 2011 年度の具体的事業報告

#### 1) 女性専任教員比率の向上

- ① 女性専任教員比率の向上に向けて、2009 年度に実施した第 1 回学院ヒアリング後の各学院における男女共同参画の進捗状況の把握を目的とした 2010 年度箇所調査の結果を基礎資料として、2011 年 7 月～9 月に第 2 回学院ヒアリングを実施した。

#### ○学院との懇談

懇談実施日	箇所名(実施順)	箇所側出席者	委員会側出席者
2011/07/01	国際学院	森田学院長ほか 8 名	矢口副委員長ほか 3 名
2011/07/08	教育・総合科学学院	神尾学院長ほか 3 名	川田委員長ほか 3 名
2011/07/15	文学学院	浦野学院長ほか 11 名	桜井副委員長ほか 3 名
2011/07/22	政治経済学院	伊藤学院長ほか 3 名	川田委員長ほか 3 名
2011/07/25	スポーツ科学学院	村岡学院長ほか 1 名	川田委員長ほか 3 名
2011/08/01	商学学院	恩蔵学院長ほか 13 名	川田委員長ほか 4 名
2011/08/03	法学学院	岩志学院長ほか 6 名	川田委員長ほか 4 名
2011/09/29	人間科学学院	谷川学院長ほか 2 名	川田委員長ほか 5 名
2011/09/22	理工学院	山川学院長ほか 4 名	川田委員長ほか 3 名
2011/09/30	社会科学総合学院	上沼副学院長ほか 2 名	矢口副委員長ほか 4 名

- ② 2009 年度実施の第 1 回学院ヒアリングの懇談内容の学院全体としてのまとめ、ならびに今年度実施の第 2 回学院ヒアリングの学院毎の懇談内容を、Waseda-net portal サイトにおいて学内教職員に公表し、本学全体としての、また、学院個々の男女共同参画に対する意識、取り組み状況を周知・紹介した。

なお、当初目標とした、一般教員を対象としたアフターマティブアクションの勉強会や

講演会の開催には至らなかった。

## 2) 女性専任職員および女性管理職比率の向上

- ① 職員管理職者を対象に、男女共同参画の理解のみならず、女性専任職員をどのように育てていくのか、という問題意識を喚起するために、2011年12月の管理職者会において、「2008年度教職員全数調査報告」をもとに、本学専任教職員の男女共同参画推進に関する意識・実態について報告を行った。
- ② 女性管理職比率が低迷する理由について、本人の能力以外に阻害する因子（辞退、家事・育児・看護等）は何なのかを探るため、2008年度、2010年度に引き続き、第3回目となる人事部との懇談の準備を進めた（2012年4月実施）。
- ③ 2011年4月に女性管理職比率が低迷する原因を明らかにし、比率を改善することを目的に、過去10年以内に昇任した女性管理職者を対象にヒアリングを実施した。育児・看護（介）との両立には職場の理解と協力が必要なこと、育児期間や看護（介）を必要としている時期にある管理職への登用候補者への時期的な配慮等を望む声などがあげられた。

## 3) 男女共同参画推進に対する教職員の意識向上

- ① 新規採用の教職員を対象とした以下の研修に、男女共同参画の講義を盛り込み、本学の「男女共同参画基本計画」を周知するとともに、男女共同参画推進への理解を深め、意識の共有化を図った。

### ○新入教職員への研修

研修実施日	研修名	場所	対象者	講師
2011/04/02	新任教員セミナー	早稲田キャンパス8号館 B101 教室	94名	橋本学事総括常任理事
2011/04/07	新入職員研修	早稲田キャンパス大隈会館 N301 会議室	21名	桜井副委員長

- ② 教職員・学生・一般向けのシンポジウム、啓発セミナー、講演会等を以下のとおり開催して、多くの本学構成員に、本学の「男女共同参画基本計画」を周知し、理解を求める機会を提供した。また、開催報告をホームページに掲出する他、ニュースレターにも内容の紹介を掲載したり、推進室が主催したセミナーや講演会等については、DVDに収録し、希望者が視聴できる機会を設けたほか、本年度から授業支援システム Course N@vi にてオンデマンド配信するなど、当日参加できなかった者への配慮も図った(p.6参照)。

なお、参加人数については、東日本大震災の影響で当初の日程で開催できなかった講演会もあったことから、前年度に比べて減少が見られた。

### ○シンポジウム・講演会等の開催

開催日	内容	演題等	主な対象	参加人数	開催形態
-----	----	-----	------	------	------

2011/06/10	公開講座	科学とジェンダー 「自分で広げる、自分の可能性」	教職員・ 学生・一般	25名	主催
2011/06/18	公開講座	「科学史とジェンダー」 ① 「科学はジェンダー中立か」 ② 「ジェンダー化された自然」	教職員・ 学生・一般	59名	主催
2011/06/24	講演会	セハラ・パワハラ・デートDV・ストーカー —「侮辱」のない関係へ—	教職員・ 学生・一般	300名	共催
2011/07/9	講演会	第5回育児講演会「言葉一つでこんなに違う～親であることがずっと楽しくなる！」	教職員・ 学生・一般	40名	共催
2011/10/21	講演会	早稲田文化芸術週間 2011「イキムによるワークライフバランス講座～ファガーリングが社会を変える！」	学生・教職員・ 一般	236名	主催
2011/10/29	講演会	稲門女性ネットワークによる現役女子学生のためのキャリア支援「第7回未来の自分を発見しよう」	学生	70名	協賛
2011/12/10	映画上映会・講演会	映画「姉妹たちよ、まずかく疑うことを習え-山川菊栄の思想と活動-」講演会「山川菊栄といま」	教職員・学生・ 一般	50名	共催
2011/12/12	フォーラム	私立大学における男女共同参画に係る環境整備と促進	大学関係者	70名	協賛
主催3回・共催3回・協賛2回 計8回			計(前年比)	850名 (△126名)	

#### 4) ライフイベントサポートシステムの改善と拡充

① ワークライフバランス・サポートセンター(以下、サポートセンターと略)では、教職員・学生を対象とした相談事業・交流事業を実施した。

相談事業では、特にキャリア初期研究者が、研究者として自立するためのキャリア支援および出産、看(介)護等のライフイベントの両立支援、大学院学生の就職活動についての支援が中心となった。なお、相談件数は、前年度と比べて大きな変動はなかった。

交流事業では、ランチョントーク&ミーティング等により、キャリア初期研究者の交流の場を充実させるとともに、教職員・学生を問わず、ライフイベントに役立つ講座やセミナーを各種開催した。なお、参加人数については、東日本大震災の影響で開催数を減らしたこともあり、前年度に比べて減少が見られた。

##### ○相談事業

相談件数	(1)		(2)				(3)					
	男性	女性	教員	職員	学生	その他	進路	ライフスタイル	心理	ハラスメント	就活	その他
102	22	80	18	9	73	2	21	26	6	1	38	10
前年比△3	△3	±0	+6	△1	△6	△2	△6	+9	+1	△2	+2	△7

内訳：(1)性別、(2)属性別、(3)相談内容別

##### ○交流事業

開催日	内容	演題等	主な対象	参加人数	開催形態
-----	----	-----	------	------	------

2011/05/25	ランチン・ミーティング	文系研究者のキャリア形成「ランチントーク&ミーティング in早稲田キャンパス」	非常勤講師・助教・助手・学生・ポストドク	10名	主催
2011/06/29	トワイライト・セミナー	「女性のからだのライフサイクルを識る講座」	学生・教職員	24名	主催
2011/08/10	ランチン・ミーティング	学業と子育ての両立:しゃべり場ランチンミーティング in早稲田キャンパス	博士・修士・学部学生・科目等履修生	3名	主催
2011/09/08	夏休みセミナー	身につけて今日から生かせる人間関係のスキル「アサーション講座」	助教・助手・大学院生・ポストドク	13名	主催
2011/10/14 ～10/20	夜間 DVD 視聴会	「介護予備知識セミナー」	教職員・学生	8名	主催
2011/10/26	トワイライト・セミナー	「介護サービスのあれこれ」～社会資源の上手な活用を目指して～	教職員・学生	8名	主催
2011/11/24	ランチン・ミーティング	「研究・学業と子育ての両立」 in所沢キャンパス	非常勤講師・助教・助手・学生・ポストドク	5名	主催
2011/12/21	ランチン・ミーティング	理系女子学生のための「キャリアデザイン・セミナー」	理系・自然科学系学部・大学院生	4名	主催
2012/02/07	セミナー	「メール力UP講座」	教職員・学生	41名	主催
2012/02/07	ランチン・ミーティング	理系女性研究者のキャリア形成	非常勤講師・助教・助手・学生・ポストドク	7名	主催
主催 10回	計 10回		計(前年比)	123名	(△47名)

② 2011年5月から、早稲田キャンパスに本学の教職員・学生が優先的に利用できる一時預かり託児室が開設された。また、9月から、所沢キャンパスにおいて週1回ではあるが、保健センター所沢分室で相談業務が行えるようになった。

男女共同参画推進室のサポート施設利用者については、早稲田キャンパス・西早稲田キャンパスともに増加傾向にあり、特に搾乳による女性利用者、子ども連れの女性利用者が増えつつある。また、11月には、西早稲田キャンパスで開催された学会の託児スペースとして、サポートセンターを初めて提供し、利用者の好評を得た。

○施設利用者

施設名	a.	b.	b./a.	b.内訳		
-----	----	----	-------	------	--	--

	開室日数	利用者数	日平均	男性	女性	子供
早稲田キャンパス10-213 事務所・相談室 (前年比)	209.5日	315名 (+65名)	1.5名 (+0.3名)	74名 (△43名)	231名 (+103名)	10名 (+5名)
西早稲田キャンパス60-214・216 ワークライフバランス・サポートセンター (前年比)	227.0日	585名 (+28名)	2.6名 (±0名)	338名 (+21名)	226名 (△8名)	21名 (+15名)
	計 (前年比)	900名 (+93名)	—	412名 (△22名)	457名 (+95名)	31名 (+20名)

- ③ サポートセンター相談員の研修を目的として、学内外の以下のシンポジウム・講演会・セミナー等に相談員を派遣した。

#### ○研修

開催日	内容
2011/06/10	公開講座「自分で広げる、自分の可能性」
2011/06/18	公開講座「科学史とジェンダー」
2011/06/24	セハラ・パワハラ・デートDV・ストーカー — 「屈辱」のない関係へー
2011/07/09	ボビンスナーサリースクール早稲田・育児講演会「言葉一つでこんなに違う～親であることがずっと楽しくなる！」
2011/08/02	京都大学公開講座「免疫学の面白さ」
2011/09/16	日本女性学習財団 女性キャリア形成支援者スタートアップ講座
2011/10/29	TWMによる現役女子学生のためのキャリア支援 第7回未来の自分を発見しよう～OGのパネルディスカッション・懇親会～
2011/12/02	J-Winセミナー「理系女子学生と女性技術者が未来を語る」キャリア開発を見つめるコンファレンス
2011/12/09	若手研究者のためのアカデミックキャリアセミナー
2011/12/10	ジェンダー研究所紀要『ジェンダー研究 21』創刊記念 映画上映&講演会
2011/12/12	私立大学連盟シンポジウム「私立大学における男女共同参画に係る環境整備と促進」

- ④ 2008年度から2011年度までの、『ワークライフバランス・サポートセンター相談活動報告書』を作成した。
- ⑤ 出産・育児・看(介)護等(ライフイベント)を支援するシステムを充実させるために、すでに学内にあるライフイベントサポート諸制度(大学の福利厚生事業、健康保険組合の保健事業「Benefit Station」による業務委託分)の確認を行い、リーフレットやニュースレター、ホームページにおいて適宜周知を行った。

#### 5) キャリア初期研究者への支援

- ① キャリア初期研究者からサポートセンターに寄せられた相談のうち、大学への要望等があるものについては、学内関係箇所にもどのように働きかけていくかについて、相談者の意向を打診しつつ検討した。

#### 6) 女子学生の就職・進学支援

- ① 2011年度も、オープン教育センター設置の男女共同参画への導入講座、「女性・しごと・

ライフデザイン」、「ウーマン・キャリアクリエイト講座」、および「科学とジェンダー」を継続して開講した。また、6月開催の「科学とジェンダー」の3コマ分については、履修者以外も聴講可能な公開授業として実施した(P.2 参照)。なお、登録者数については、前年度と比べていずれの科目も減少した。

#### ○関連科目の開講・登録者数

科目名／担当教員	学期	2011年度 (前年比)
女性・しごと・ライフデザイン／矢口徹也ほか	前期	208名 (△18名)
ウーマン・キャリアクリエイト講座／並木秀男ほか	後期	209名 (△38名)
科学とジェンダー／中村采女ほか	前期集中	36名 (△19名)

- ② 2011年10月に、女子学生の進学・就職支援のため、稲門女性ネットワーク(TWN)・キャリアセンターと連携して、女子学生を対象としたセミナー「第7回自分の未来を発見しよう～OGのパネルディスカッション～」を開催した(p.3参照)。

#### 7) 人権・ジェンダー・労働に関わる教育・研究の推進

- ① 関連科目のデータベース化、補完・強化すべき分野の検討を検討し、2011年度開講科目について、男女共同参画に関連するキーワードによる抽出作業を実施し、ホームページで120科目(前年比37科目増)を紹介した。
- ② オープン教育センターが設置する、全学生、主に学部新生を対象としたオンデマンド授業「わせたライフABC」に盛り込む男女共同参画部分のコンテンツを2010年度に引き続き提供した。
- ③ 2011年度より、催した講演会の模様を男女共同参画推進室提供講座として、授業支援システム Course N@vi にて、オンデマンド配信を開始した。

#### ○オンデマンド授業

科目名／テーマ名／講師	受講者数
わせたライフABC／男女共同参画とは何かを考えてみよう／川田委員長	2,747名
〔男女共同参画推進室提供講座〕 女性への大学教育の開放:早稲田大学の場合ーワセ女は彼女たちから始まったー(2009年10月19日収録)	(2012.02.15～) 79名
〔男女共同参画推進室提供講座〕 イクメンによるワークライフバランス講座～ファザーリングが社会を変える!～(2011年10月21日収録)	(2012.02.15～) 89名

#### 8) 国内外の大学および研究機関との交流

- ① 2011年6月に、オープン教育センター設置科目「科学とジェンダー」の中から「科学史とジェンダー」「自分で広げる、自分の可能性」を公開講座として開催した。また、同年10月には、早稲田文化芸術週間2011の企画として、講演会「イクメンによるワークライ

フバランス講座～ファザーリングが社会を変える！～」を開催するなど、本学の学生・教職員の男女共同参画についての理解を深めるとともに、外部にも公開して本学の取り組みを紹介した。

そのほか、学内他箇所が主催する男女共同参画に関連するイベントについては、共催・協賛箇所等として支援し、ホームページやニュースレターに案内や報告を載せた（p.2・3 参照）。

- ② 他大学・機関との交流・協力にも重点を置き、2011年11月、筑波大学で開催された女性研究者研究活動支援事業合同公開シンポジウムに前採択校として参加し、ポスターセッションも行った。また、同年12月には、関西学院大学で開催された女性研究者支援フォーラムを後援した（p.7 参照）。そのほか、学外他機関からの見学者・来訪者を受け入れ、情報提供・意見交換を行った。

見学者・来訪者：5件（NPO 法人ファザーリング・ジャパン、京都大学、日本軽金属学会）

- ③ 委員会委員・部会委員・事務局スタッフは、学内外のワークショップ・シンポジウム・講演会等の講師を務めるほか、積極的に参加をし、情報収集・意見交換を行った。

#### ○参加講演会・シンポジウム等

開催日	主催者	演題等	参加形態
2011/04/22	学内(キャリアセンター)	キャリアサポートセミナー「就職の準備の準備」	聴講
2011/05/27	学内(保健センター)	オープン教育センター公開講座「こころとからだの健康」	聴講
2011/06/14	学内(職員組合)	育児・看護懇談会	一般参加
2011/08/02	京都大学	東京で学ぶ京大の知：シリーズ 4「女性として、研究者として」	一般参加
2011/09/16	日本女性学習財団	女性のキャリア形成支援者スタートアップ講座	一般参加
2011/11/01 ～11/02	筑波大学	女性研究者研究活動支援事業合同公開シンポジウム	グループディスカッション・ポスターセッション
2011/12/02	J-Win・SWE	「理系女子学生と女性技術者が未来を創る」キャリア開発を見つめるカンファレンス	一般参加
2011/12/09	学内(高等研究所)	若手研究者のためのアカデミックキャリアセミナー	一般参加
2011/12/12	私立大学連盟	平成23年度男女共同参画推進に関するシンポジウム「私立大学における男女共同参画に係る環境整備と促進」	一般参加
2012/02/04 ～02/05	日本性差医学・医療学会	第5回学術集会「教育講演：ジェンダー法からみたワーク・ライフ・バランス政策」、「シンポジウム：子育て支援・家族支援とジェンダー」など	演者・シンポジウム座長
2012/03/02	日本女性学習財団	東日本大震災復興支援事業シンポジウム「災害・復興拠点としての女性センターを考える」	パネリスト

### 9) 長期的な展望にたつ男女共同参画の推進

- ① 2011年10月21日、第2期の男女共同参画推進委員会は本学における男女共同参画推進

の理念と今後の課題を、第3期男女共同参画推進委員会に引き継いだ。

- ② 2008年12月に発表した中長期計画「男女共同参画基本計画」の実現に向けて、2011年度事業計画を実施した。また、2010年度の事業報告を作成し、ホームページ上で広く学内外に公表するとともに、その報告内容・実績を踏まえ、2012年度事業計画を策定した。なお、事業の実施と計画立案にあたり、次のとおり、委員会・部会等を開催した。

○会議等の開催状況

会議体名	開催数	開催日・回
委員会・幹事会	3回	6/3 第10回(第2期4回)、10/20 第11回(第2期5回)、1/26 第12回(第3期1回) ※幹事会の開催なし
教育研修部会	4回	6/17 第18回(第2期9回)、7/15 第19回(第2期10回)、11/18 第20回(第3期1回)、3/16 第21回(第3期2回)、
制度環境部会	6回	5/30 第20回(第2期8回)、6/20 第21回(第2期9回)、6/20(打合せ会)、10/13 第22回(第2期10回)、11/22 第23回(第3期1回)、3/21 第24回(第3期2回)
広報調査部会	3回	6/9 第21回(第2期8回)、9/16 第22回(第2期9回)、11/30 第23回(第3期1回)
サポートセンター部会	3回	7/27(打合せ会)、11/9 第13回(第3期1回)、3/6 第14回(第3期2回)

- ③ 2011年度末の事務局体制は次のとおりであり、2010年度末と比べ増減はなかった。

スタッフ数：6名（内訳：管理職1、専任職員2、派遣1、相談員2）2012年3月現在

10) 男女共同参画に必要な各種調査の実施

- ① 2008年度に実施した教職員全数調査の今後の実施方法・間隔等について検討を行い、前回から5年経過後の2013年度の実施に向けて、具体的な事業ならびに予算計画策定を始めた。
- ② 2011年3月～4月に、箇所調査を実施し、第2回目の学術院との懇談のための基礎資料を作成した。
- ③ 男女共同参画事業の推進にあたって、必要な情報を収集するための調査活動として、2008年12月、2010年12月に引き続き、2012年4月に人事部との懇談を実施するための準備を進めた。また、以下のとおり、他大学・学外機関からの調査等に協力した。

○学外からの調査依頼等

依頼月	依頼機関	調査内容
2011/08	文部科学省	女性研究者支援策についての研究者向けアンケート
2011/10	日本私立学校振興・共済事業団	大学院教育の実質化の推進「女性研究者支援の取組状況」
2011/11	科学技術振興機構	「研究支援員の配置を受けた」女性研究者の実施期間3年間の研究成果について



2011/12	お茶の水女子大学	教育研究機関の雇用環境評価「女性が働きやすい雇用環境を構築するためのチェック 50」
2012/01	科学技術振興機構	「女性研究者支援モデル育成」プログラム採択プロジェクト事業終了後の継続状況調査

## 11) 男女共同参画の進捗状況の周知

① 本学における男女共同参画推進の取り組み、現状や制度の概要等を紹介することを目的としたリーフレットについて、2011年度は、利用者の至便性を図り、配付対象を専任教職員用と、専任教職員も含めた教職員・学生共通用の2種類を作成し、2011年10月と11月に発行した。

また、ポスターについては、2010年度に作成したポスターの英語版を2011年10月に発行し、学内全ての箇所に掲出を依頼した。

### ○リーフレット

タイトル	発行年月	発行部数	配布対象者
専任教職員用 早稲田でも進めています男女共同参画 ワークライフバランスサポート案内	2011/10	4,000部	専任教職員
	2011/11	25,000部	全ての教職員(非常勤・派遣も含む)・大学院学生、希望する学部学生

### ○ポスター

タイトル	発行年月	発行部数	配布対象者
Gender Equality at Waseda University	2011/10	200部	学内全箇所

② 2009年3月に創刊したニューズレターについて、引き続き、2011年10月に第6号を発行、さらに、2012年4月発行の第7号の校正編集作業を実施した。

### ○ニューズレター

タイトル	発行年月	発行部数	配布対象者
さんかくニュースNo.6	2011/10	25,000部	全ての教職員(非常勤・派遣も含む)・大学院学生、希望する学部学生
さんかくニュースNo.7	2012/04	25,000部	

③ ホームページによる情報発信の充実を図るため、男女共同参画推進に関連する学内外の情報を、ニュース・イベントとして速やかに掲出した。

ニュース・イベント掲出数：2011年度72件 ※前年比4件増

アクセス件数：2011年度10,644件(月平均約887件) ※前年比384件増

④ 既存の学内広報物に、適宜、記事・話題を提供した。

○『早稲田ウィークリー』学生部発行

- ・ 1244号(2011年6月2日発行)  
【杜の手帳】公開講座「自分で広げる、自分の可能性」開催告知
  - ・ 1245号(2011年6月9日発行)  
【杜の手帳】公開講座「科学史とジェンダー」開催告知
  - ・ 1257号(2011年10月13日発行)  
特集記事「ワークライフバランス・サポートセンターを活用しよう！」掲載、安藤哲也氏講演会「イクメンによるワークライフバランス講座～ファザーリングが社会を変える！～」開催告知
  - ・ 1266号(2011年12月15日発行)  
【こんな授業！どんなゼミ？】男性学ってどんな授業？掲載
  - ・ 1267号(2012年1月12日発行)  
【現場レポート】『イクメンによるワークライフバランス講座～ファザーリングが社会を変える！～』に参加して(安藤哲也氏講演会参加者感想)掲載
- 『CAMPUS NOW』広報室広報課発行
- ・ 198号(2011 錦秋号)  
【Special Report】男女共同参画社会を実現し、新たな知を創造する Chapter1 対談  
大学における男女共同参画とは  
Chapter2 研究者から見た男女共同参画  
Chapter3 研究者座談会 多様性を生かせる研究環境の実現を目指して
- 『CAMPUS DAIARY 2012』(日本語版・英語版)早稲田大学発行・学生生活課編集
- ・ 「男女共同参画」理解のためのQ&Aを掲載
  - ・ 「各箇所開室時間」覧にサポートセンターを掲載
  - ・ キャンパス案内図の中に、おむつ交換台・ベビーチェア設置箇所を掲載
- 『留学生ハンドブック』留学センター発行
- ・ 「男女共同参画の推進について」掲載

以 上